

馬淵川河川事業の進捗状況と今後の進め方 (県管理区間)

平成24年1月17日

青 森 県

目 次

■河川整備計画の基本的な考え方	・ ・ ・ ・	1
■馬淵川水系河川改修事業位置図	・ ・ ・ ・	4
■馬淵川河川改修事業の実施状況	・ ・ ・ ・	5
■浅水川河川改修事業の実施状況	・ ・ ・ ・	8
■今後の事業の進め方	・ ・ ・ ・	9

河川整備計画の基本的な考え方

計画の趣旨 [整備計画策定：平成15年10月24日]
[整備計画変更：平成22年 6月11日]

本計画は、河川法の三つの目的が総合的に達成できるように、河川法第16条に基づき平成19年7月に策定された「馬淵川水系河川整備基本方針」に沿って、河川法第16条の二に基づき、当面実施する河川工事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す法定計画を定めたものです。

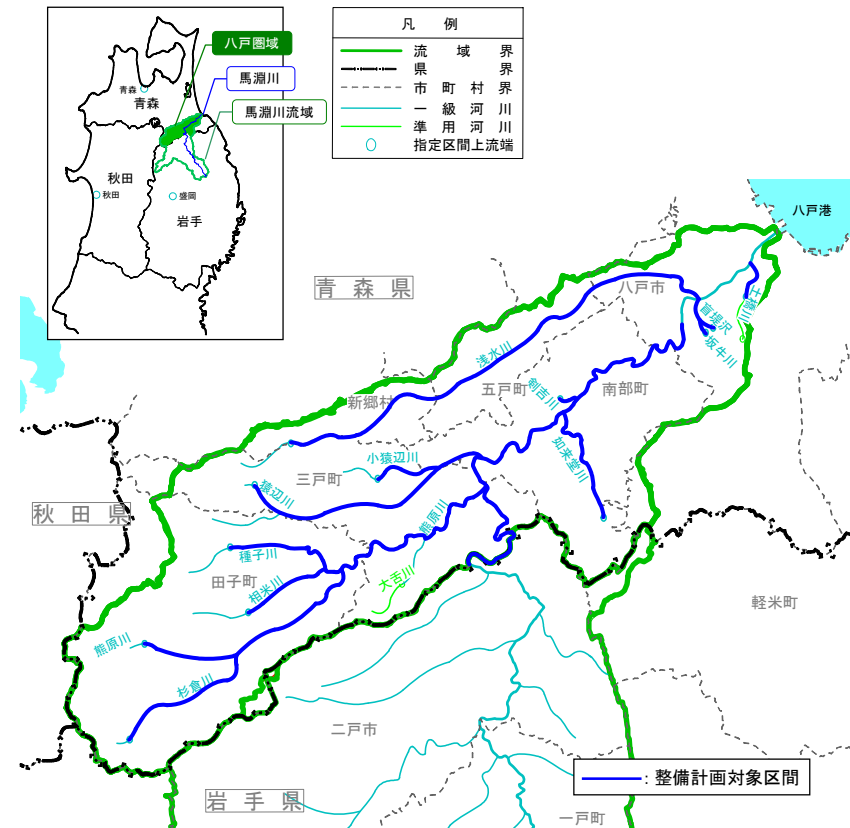
- 1) 洪水、高潮等による災害発生の防止
- 2) 河川の適正な利用と流水の正常な機能の維持
- 3) 河川環境の整備と保全

計画の対象区間

本計画の対象区間は、馬淵川水系のうち青森県知事が管理する区間を対象とします。

計画の対象期間

本計画の対象期間は、概ね20年間とします。
※策定後の状況変化や新たな知見、技術の進歩などにより、必要に応じて適宜見直しを行います。



<計画対象区間位置図>

河川整備計画の基本的な考え方〈基本理念〉

河川整備基本方針に基づき、治水、利水、環境の調和を図りながら河川整備に関わる施策を総合的に展開するため、次の三つの基本理念に基づき、計画を策定します。

安全で安心が
持続できる川づくり

河川整備基本方針で定めた目標に向け、必要な治水対策を総合的に展開し、洪水、内水被害、地震などさまざまな災害から沿川地域住民の生命と財産を守り、将来にわたって人々が安心して暮らせる安全な馬淵川の実現を目指します。
また、地域の安全と安心が持続できるよう、流域の自然的、社会的特性を踏まえた継続的・効果的な河川の維持管理に努めます。

豊かな河川環境と
河川景観を次世代に
継承する川づくり

馬淵川の自然豊かな河川環境と河川景観を次の世代に引き継ぐため、連携と協働のもと流域一体となった河川環境の保全、再生、創出を目指します。
また、関連地域の社会経済情勢の発展に即応するよう環境に係わる計画などの調整を図りつつ、適正な整備・保全及び維持管理に努めます。

地域の個性と活力、
歴史や文化が
実感できる川づくり

地域の魅力と活力を引き出すため、生活の基盤や歴史、文化、風土を形成してきた馬淵川の恵みを活かしつつ、自然とのふれあい、歴史、文化、環境の学習ができる場、地域住民の利活用の場などの整備、保全を目指します。
また、河川に関する情報について地域住民と幅広く共有されるよう、防災学習、河川の利用に関する安全教育、環境教育などの充実を図るとともに、住民参加による河川清掃、河川愛護活動などを推進します。

河川整備計画の基本的な考え方<整備計画目標>

本計画で設定した治水、利水、環境及び維持管理のそれぞれの目標に向け、整備を実施します。

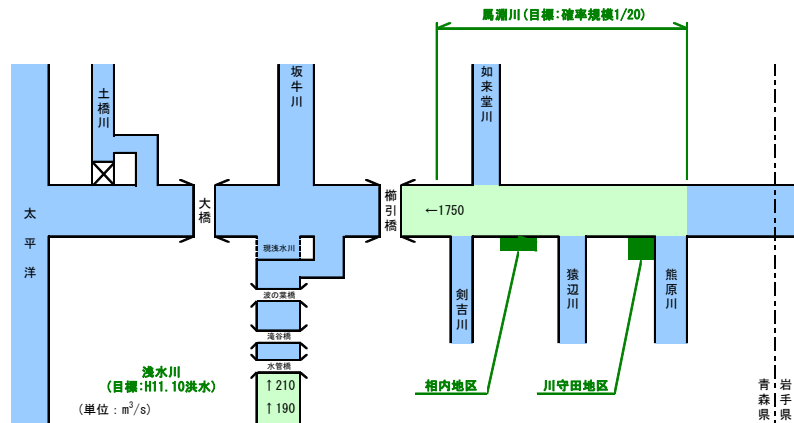
治水

【馬淵川】

『20年に1度発生する洪水（櫛引地点 1,750 m³/s）が発生しても、外水のはん濫による宅地の浸水被害を防止する』ことを目標とします。

【浅水川】

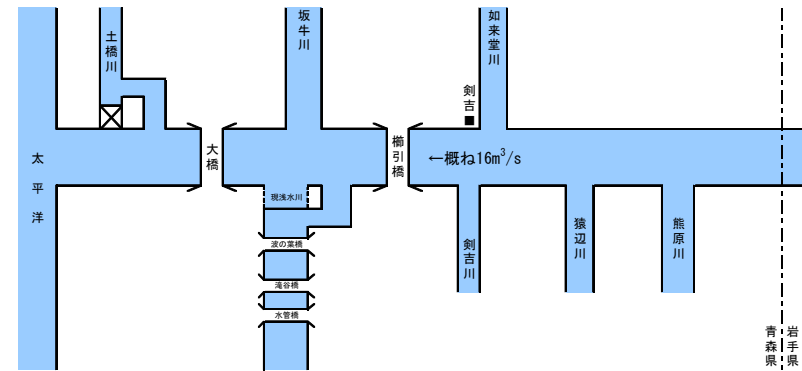
『平成11年10月洪水と同規模の洪水が発生しても、外水のはん濫による浸水被害を防止する』ことを目標とします。



利水

【流水の正常な機能維持】

広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなどの対策により、馬淵川水系河川整備基本方針にて定められた流水の正常な機能を維持するために必要な流量の確保に努めます。

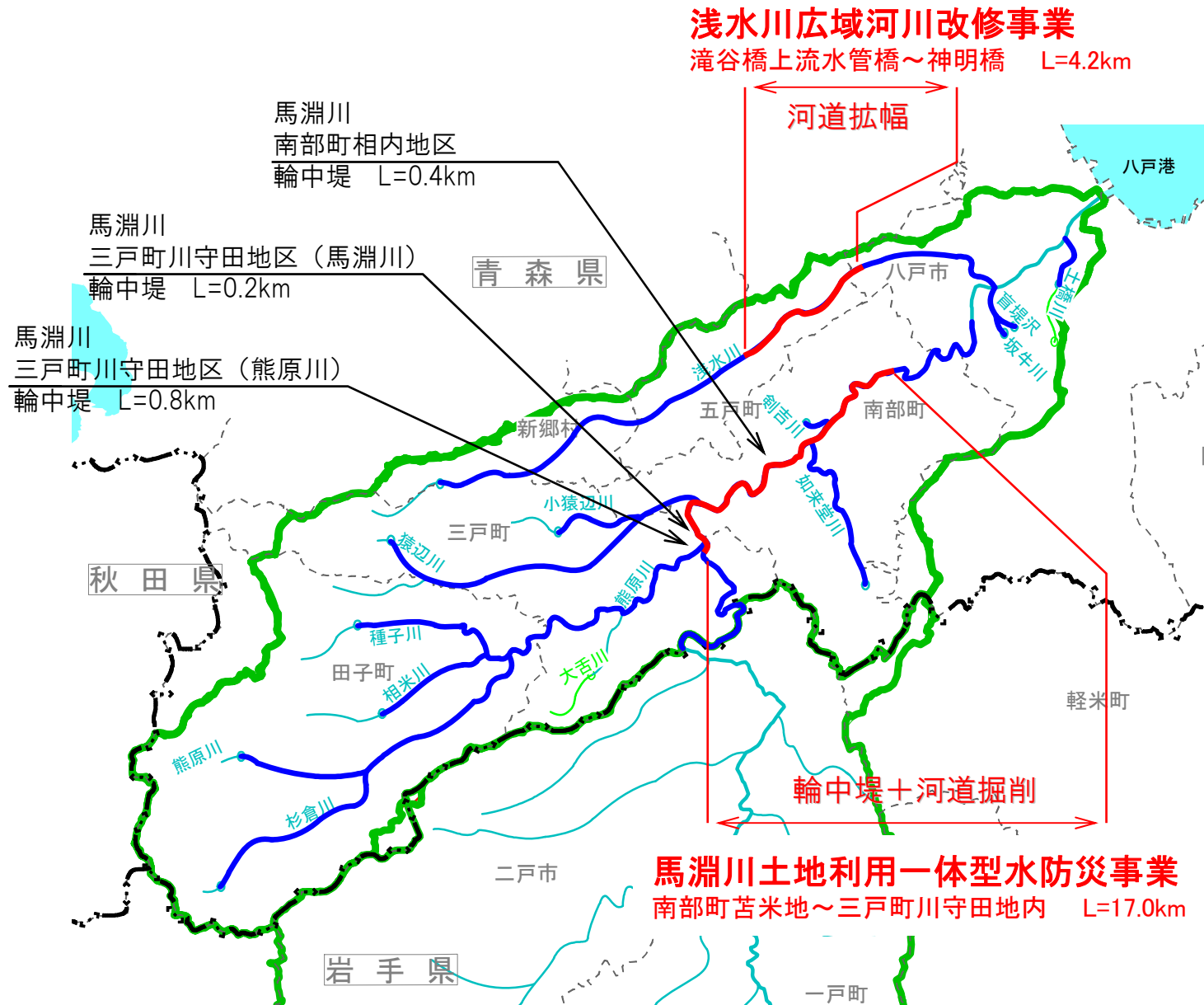


環境

【河川環境の整備と保全】

河川の整備に際しては本来有している自然環境を尊重し、多様な動植物の生息・生育環境の保全に努めます。
また、多様な姿を見せる馬淵川の流れと調和した河川景観の保全を図り、河川の持つ優れた景観資源としての価値を活かすよう努めます。

馬淵川水系河川改修事業 位置図



平成23年度 実施状況 馬淵川土地利用一体型水防災事業 【相内地区】

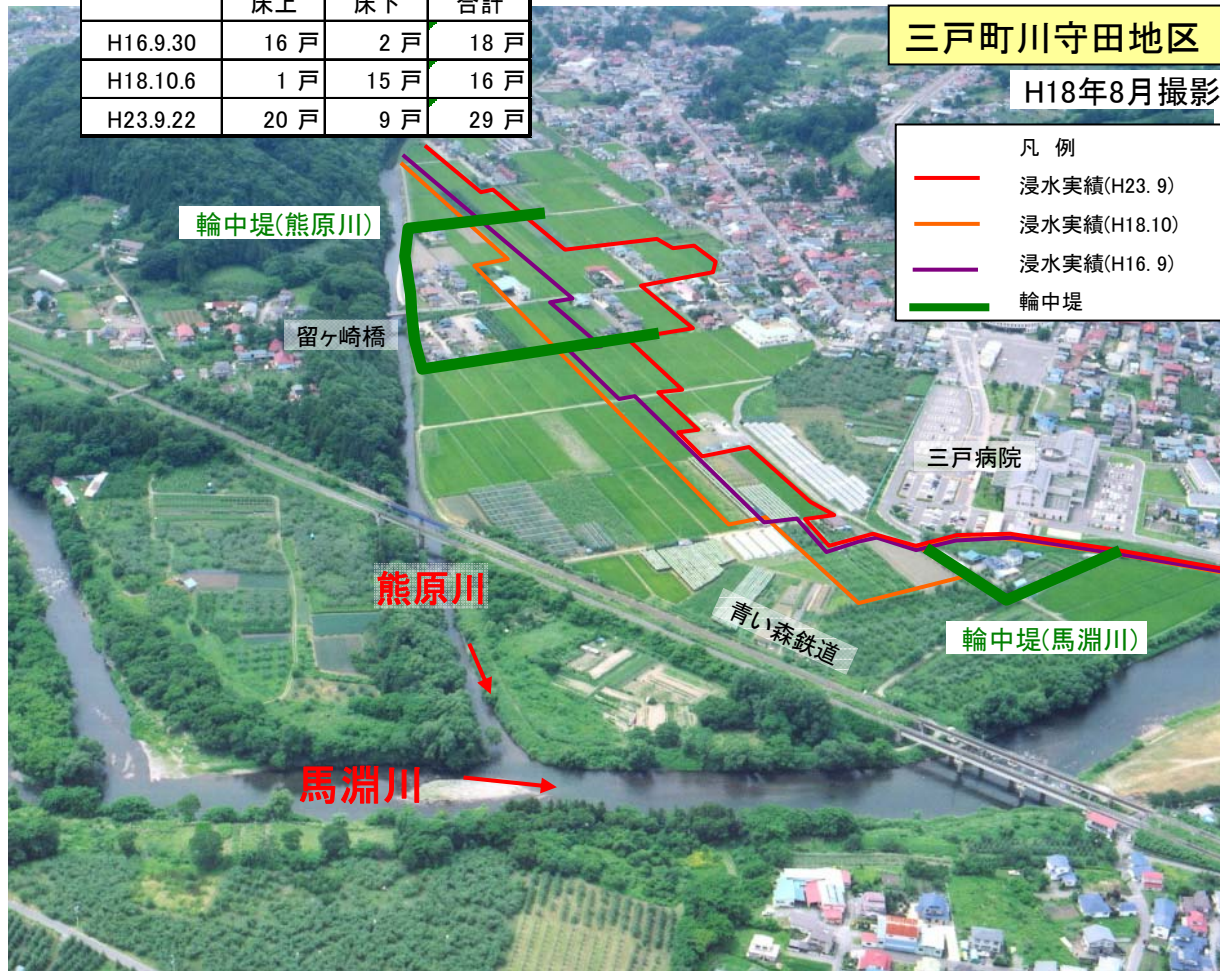
南部町相内地区では、平成16年9月洪水で7戸、平成18年10月洪水で1戸の浸水被害が発生したため、平成20年度から輪中堤の整備に着手し、平成22年度に完了しました。
 今回の台風15号では、輪中堤の効果により浸水被害を回避できました。



平成23年度 実施状況 馬淵川土地利用一体型水防災事業 【川守田地区】

三戸町川守田地区では、平成16年9月洪水で18戸、平成18年10月洪水で16戸、平成23年9月洪水では29戸の浸水被害が発生しました。
この浸水被害の防止を目的とした輪中堤の整備に向けて、用地交渉を進めています。

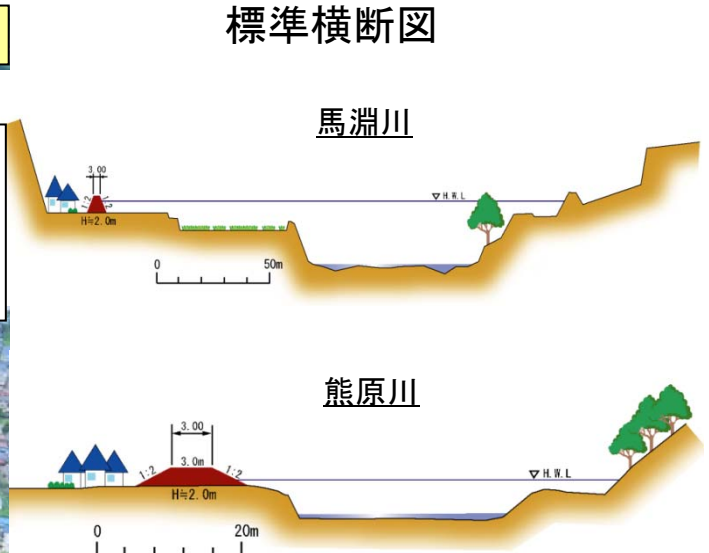
川守田地区	浸水戸数		
	床上	床下	合計
H16.9.30	16戸	2戸	18戸
H18.10.6	1戸	15戸	16戸
H23.9.22	20戸	9戸	29戸



三戸町川守田地区
H18年8月撮影

凡例

- 浸水実績(H23.9)
- 浸水実績(H18.10)
- 浸水実績(H16.9)
- 輪中堤

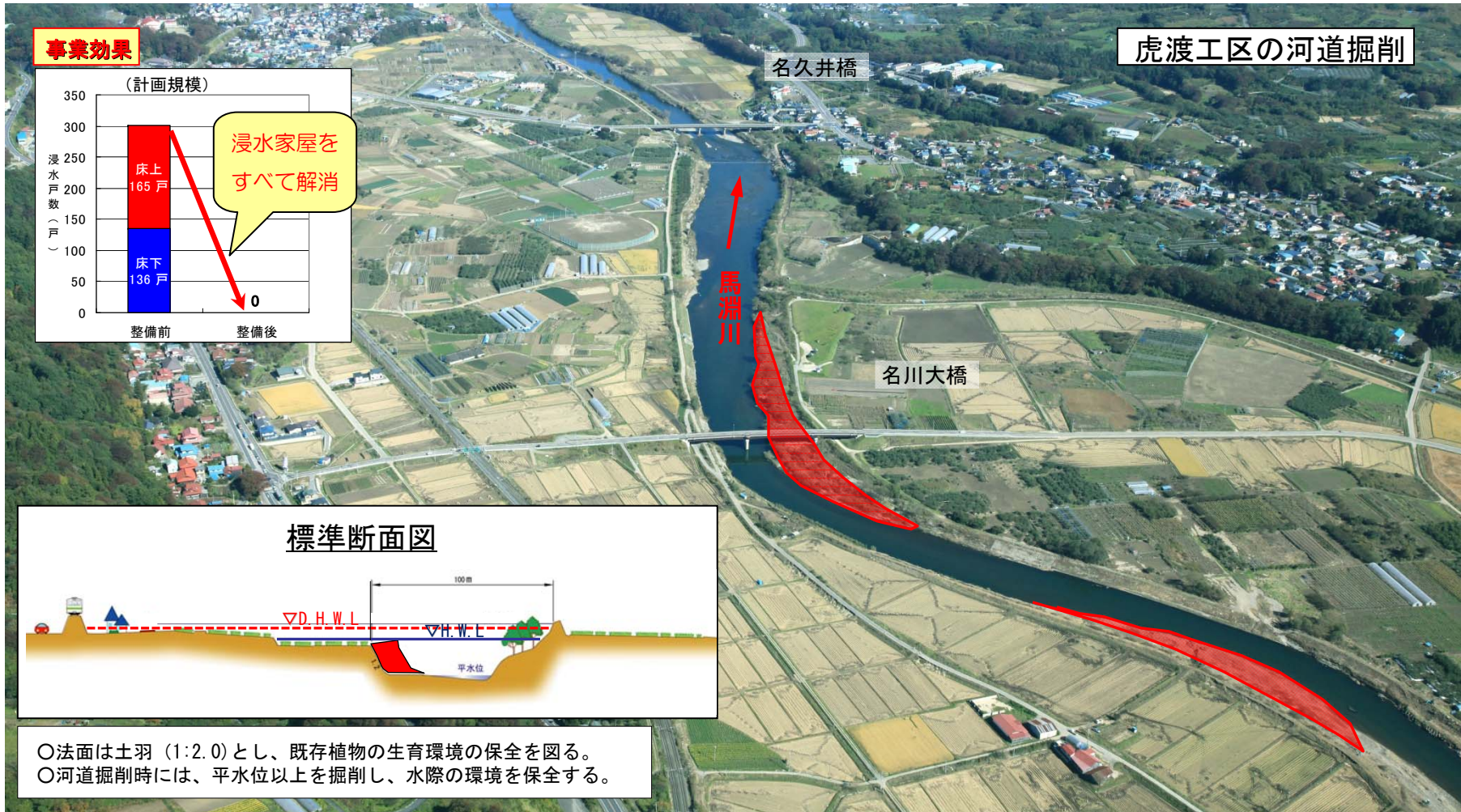


平成23年度 実施状況

馬淵川土地利用一体型水防災事業(河道掘削)

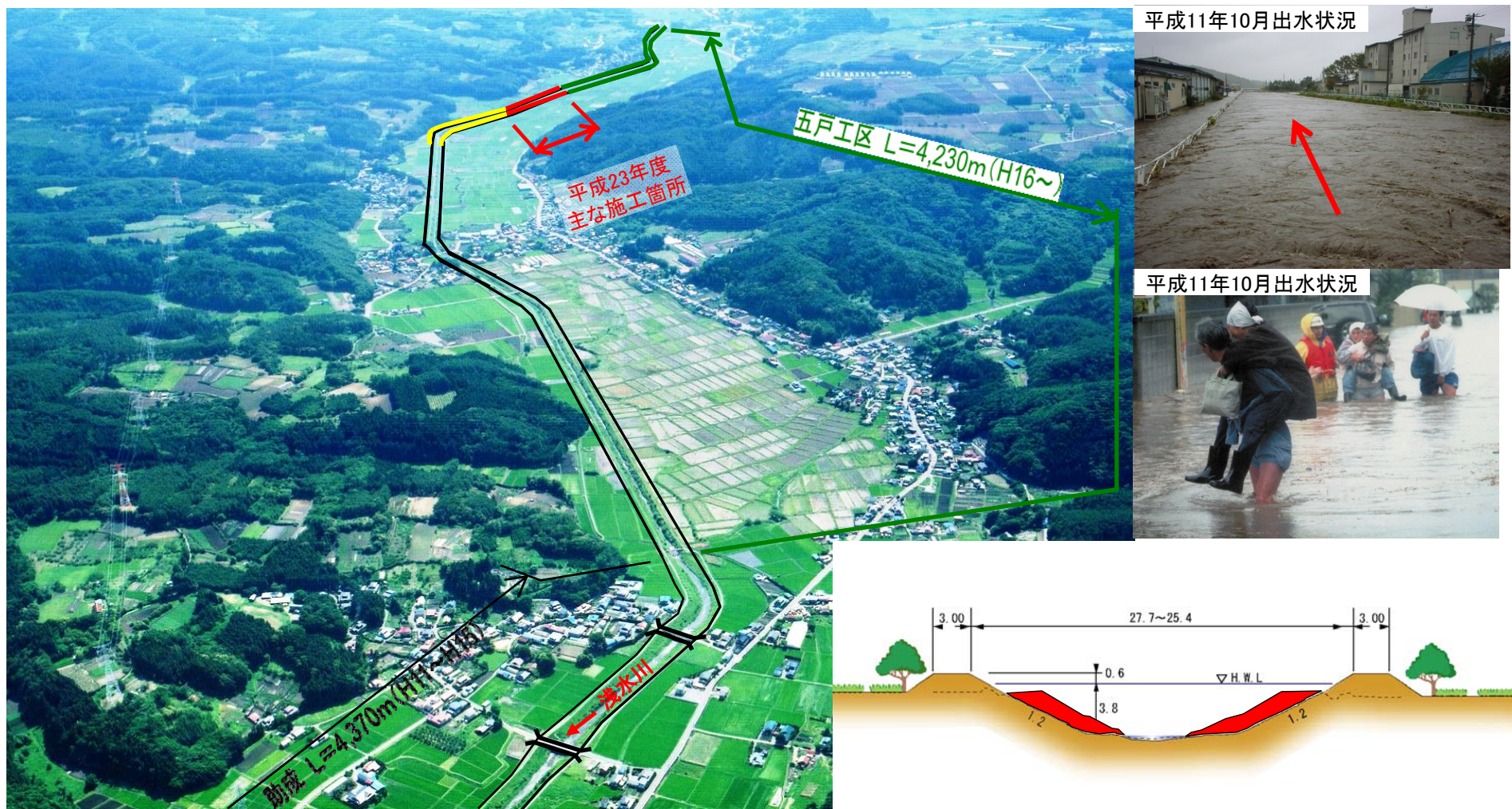
馬淵川中流部は上下流バランスから連続堤での改修が困難な状況にあり、流下能力が極めて低く、近年ではH14、H16、H18と立て続けに氾濫し、H23台風15号による出水では、床上浸水185戸、浸水戸数270戸に上る被害が発生しました。

この宅地の浸水被害を防止するため、平成23年度から河道掘削に着手します。



平成23年度 実施状況 浅水川広域河川改修事業(河道拡幅)

浅水川は、平成11年10月の洪水を契機に重点的な河川改修を実施し、馬淵川合流点から約7.2km地点まで平成15年度に完了しました。翌平成16年度からその上流約4.2kmに着手しているところです。平成23年度の実施状況としては、五戸町大字扇田地内において、河道拡幅を実施しています。また、浅水川の河川事業については、平成28年度の事業完了を目標としています。



今後の事業の進め方

平成20年度から土地利用一体型水防災事業により輪中堤の整備及び河道掘削を推進してきましたが、平成23年9月の台風15号により甚大な被害を受けたことから、早期に事業完成を図るべく、平成23年度は災害対策等緊急事業推進費を活用して緊急に河道掘削を行うとともに、平成24年度から床上浸水対策特別緊急事業への格上げを要望しています。

なお、事業実施にあたっては治水安全度の上下流バランスに配慮し、計画的に実施します。



	浸水面積 (ha)	浸水戸数(戸)		
		床上	床下	計
H16.9.30	432	73	64	137
H18.10.6	294	48	46	94
H23.9.22	490	185	85	270

全体工程表

工種	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考
河道掘削	■	■	■	■	■			
輪中堤		■	■					
全体	■	■	■	■	■	←		2年間短縮
	推進費 床上浸水対策特別緊急事業				土地利用一体型水防災事業			現在の事業計画



事業効果

